

評価委員会総合評価

研究課題名：大規模噴火時の火山現象の即時把握及び予測技術の高度化に関する研究  
評価委員

委員長：古川信雄

委員：小泉尚嗣、田中正之、渡辺秀文、泊 次郎

評価年月日：平成 25 年 9 月 25 日

1. 総合評価

- (1) 実施の可否             可                             否  
(2) 修正の必要の有無     修正の必要あり         修正の必要なし

2. 総合所見

低頻度ではあるが大規模災害をもたらす火山噴火は、社会的関心が高く、監視及びシミュレーション技術の向上が欠かせないものである。

本研究は、平成 25 年度を以て終了する研究課題「気象観測技術を活用した火山監視・解析手法の高度化に関する研究」の成果を踏まえ、残された課題を正確に認識したうえ、将来発生する可能性のある大規模噴火に対処可能な「噴石に関する情報」、「量的降灰予報」、「航空路火山灰情報」の高度化を目指したものである。

既存の気象レーダーや気象衛星及び可搬型レーダーの活用といった観測データの取得や気象庁本庁や所内研究部との連携を考慮した研究計画となっており、効率的な研究推進に配慮されたものとなっている。また、気象レーダーによる噴煙状態等の即時把握、数値予報技術を適用した予測といった目標は、気象庁の火山監視業務に貢献するものであり、前計画での研究の進展から判断して、十分に達成が期待できる。